

与進中学校実践報告

(1) 活動(実践)内容

「すらすら英会話」

○(実施している学年) 2年 (単元名) 各 Talking Time
(時間数) 毎時間、授業開始時に行う(5分程度)

○4技能のうち話す活動として行った

○具体的な指導法・活動方法

- ・ワークシートの作成では生徒の身近なシチュエーションを選ぶ

(例) Total English 2年 P56 道案内

「学校から近くの塾までの道案内」

P86 電話でおしゃべり

「学年の先生方の旅行についての会話」

①ペアで向き合って読む

②ワークシート右側を担当する生徒はワークシートを見ない

③二人ともワークシートを見ない

④会話に出てくる場所やもの、人を変えて会話をする

- ・毎時練習の後に1ペア～2ペアを発表させて、教員が声量、流暢さ、アイコンタクトを口頭で評価する。(ABCの三段階)

すらすら英会話「電話でおしゃべりバージョン」	
1	<p>Hello. This is Akihiro. May I speak to Mr.Kawai?</p> <p>Sure. Hold on just a minutes.</p>
2	<p>I think you have the wrong number.</p>
3	<p>Come on. No kidding.</p> <p>Hi, Akihiro. What's up?</p>
4	<p>Ms. Matsuda invited us to a trip next Friday.</p> <p>Where will we go?</p>
5	<p>We will go to Kyoto. We'll stay at a hotel Monterey.</p> <p>Sounds great!</p>
6	<p>Anyway, can I borrow your camera bag?</p> <p>Of course. I can lend it to you.</p>



(資料) ワークシート一部

(2) 成果と課題

○道案内の活動後、ALTに積極的に英語で話そうとする姿が見られた。

○相手の発言に相槌を打つことができるようになり、インタビューの活動で会話が続くようになった。

ペアを変えたり、時間を計測したり(○秒以内にすらすら会話しよう)、活動がマンネリ化しないように工夫をしている。話す活動について他校ではどのような活動を行っているか、知りたい。